

第 69 回国民体育大会 ラグビーフットボール競技少年男子 結果報告

日 時 2014. 10. 17(金)

場 所 長崎市総合運動公園かきどまり運動広場

結 果 0-90 対 神奈川県

第 69 回国民体育大会長崎がんばらんば国体ラグビーフットボール競技少年男子が去る 2014 年 10 月 17 日～21 日に長崎市総合運動公園かきどまり運動広場において開催されました。

和歌山県少年男子チームは 17 日第 1 試合で神奈川県と対戦しました。少年男子が本国体に出場するのは 43 年ぶり、前回の黒潮国体以来となります。

和歌山県は強豪・桐蔭学園のメンバーを要する神奈川県を相手に開始早々ペナルティーによって与えたゴール前ラインアウトからドライビングモールによって押し込まれ失点。その後もパワーとスピードを兼ね備えた攻撃に失点を重ね、前半を終えて 0-50。全国の強豪に対するディフェンス力の強化を重点に置いて取り組んできた和歌山県少年男子チームとしては厳しく、悔しさの募る前半の戦いとなりました。

ハーフタイムに状況を整理し、チームと個人のやるべきことを再確認して後半へ。後半は益々勢いに乗る神奈川県のみならず、和歌山県の猛攻を「前へ出て止める」場面も随所に見られ、最後まで諦めず集中したディフェンスを継続することが出来ました。しかし最終結果は厳しいスコアとなってしまいました。

この試合のために準備を重ねてきましたが、初めての国体という舞台で取り組んできたディフェンスの成果を発揮することができませんでした。8 月末に行われた近畿ブロック大会では、今国体ベスト 4 に進出した兵庫県に対しても厳しいディフェンスを仕掛けており、前半を 2 トライに抑えることが出来ただけに今回の結果は残念ながらありません。

紀の国わかやま国体を一年後に控え、非常に厳しい結果ではありますが、岩出雅之総合アドバイザー、竹田寛行テクニカルアドバイザーの御指導、御助言を賜り、県協会、高体連、スタッフ、そして選手が一体となって『わかやま国体での勝利』と『その先の和歌山ラグビーの発展』に向かって邁進致します。

